

〔成果情報名〕 自家和合性を有し、「南高」よりやや早熟のウメ新系統「NK14」

〔要約〕 「NK14」は、「南高」に「剣先」を交配して育成したウメ新系統である。自家和合性を有し、育成地での青果収穫始めは5月下旬から6月上旬で、「南高」よりもやや早い。また、果実重は29g程度で「南高」と同程度かやや小さい。

〔キーワード〕 ウメ、新品種、育種、交雑

〔担当機関名〕 うめ研究所                      〔連絡先〕 0739-74-3780

〔部会名〕 果樹                                      〔分類〕 指導

〔背景・ねらい〕 本県の主力品種である「南高」は、自家不和合性で着果が不安定になりやすい。そこで、自家和合性を有し、「南高」の優れた果実形質を受け継いだ青ウメ出荷用品種の育成を行う。

#### 〔成果の内容・特徴〕

1. 「NK14」は、1999年に種子親「南高」に花粉親「剣先」を交配、2007年に最終選抜した個体で、自家和合性を有する（データ省略）。
2. 第1次生理落果終了後の着果率は極めて高く、着果が安定する（図1）。
3. 青果収穫始めは、「南高」に比べて4～7日程度早い（表1）。
4. 果実重は「南高」と同程度かやや小さく、果肉歩合は「南高」より高い（表2）。
5. 紅色着色は「南高」に比べて優れ、成熟期には果面にツヤが出る（データ省略）。

#### 〔成果の活用面・留意点〕

1. 現在、品種登録申請中である。
2. 今後、現地での栽培特性、最適な栽培方法を検討する。

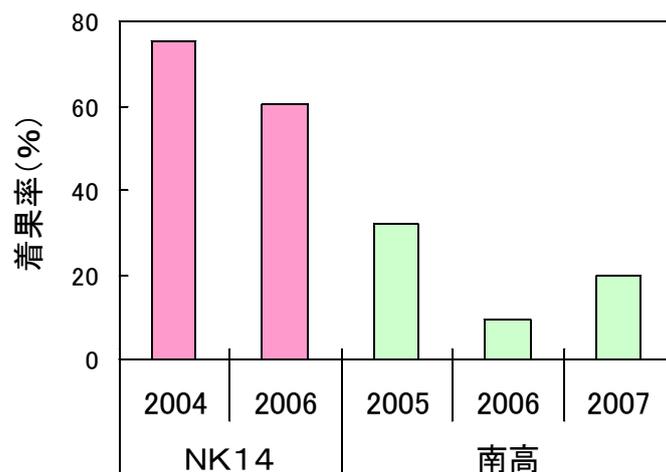


図1. 「NK14」の第1次生理落果終了後の着果率  
注)着果率:側枝の着果数/着蕾数×100、うめ研究所

表1. 「NK14」の青果収穫始め (月/日)

品種・系統	2005	2006	2007(年)
NK14	6/10	6/8	5/28
南高	6/15	6/12	6/4
収穫前進日数	5	4	7

注)うめ研究所での収穫時期

表2. 「NK14」の果実形質

品種・系統	果実重 (g)		果肉歩合 <sup>1)</sup> (%)	
	2006	2007	2006	2007
NK14	29.3	29.3	93.5	92.4
南高	44	31	89.3	89.6

注)2006年のNK14は6月16日、南高は6月20日

2007年はNK14、南高ともに6月12日調査

1)果肉歩合は、果実重量に占める果肉重量の割合

[その他]

研究課題名：自家和合性新品種の育成

予算区分：県単

研究期間：平成16～22年

研究担当者：根来圭一、林恭平